

1. 法人の概要

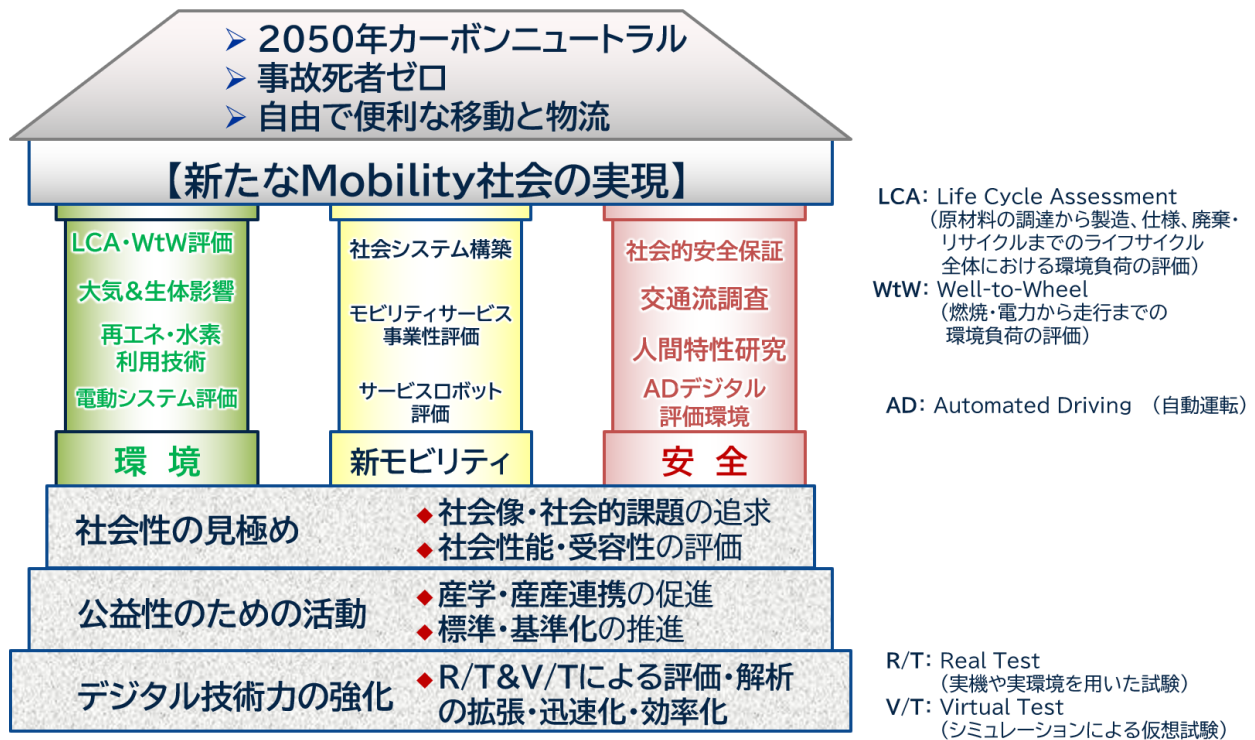
1.1 JARI の運営方針

一般財団法人日本自動車研究所(JARI)は、1969 年の設立以来、中立的な立場から、自動車に関する研究・試験、技術開発、調査・評価に取り組んできました。これらの活動を通じて、日本の自動車産業の発展と安全・安心なモビリティ社会の実現に貢献しています。

JARI は、「社会と協力して未来を創造する研究所」を掲げる JARI VISION 2030*の実現を目指しています。その実現に向け、研究・試験を通じて信頼性の高い評価手法や試験データ、技術的知見を提供するとともに、産官学や企業間をつなぐ新たな協調領域におけるハブとして、幅広い関係者との連携を進めています。

研究事業では、環境、安全、新モビリティの3つを重点分野とし、「2050 年カーボンニュートラル」、「事故死者ゼロ」、「自由で便利な移動と物流」の実現に向けた研究・試験を進めています。これらの取り組みを通じて、車と社会のつながりに関する研究を深め、持続可能で安全・安心なモビリティ社会の実現を目指します。

*詳細は、JARI HP の [JARI2030 年ビジョン](#)をご参照ください。



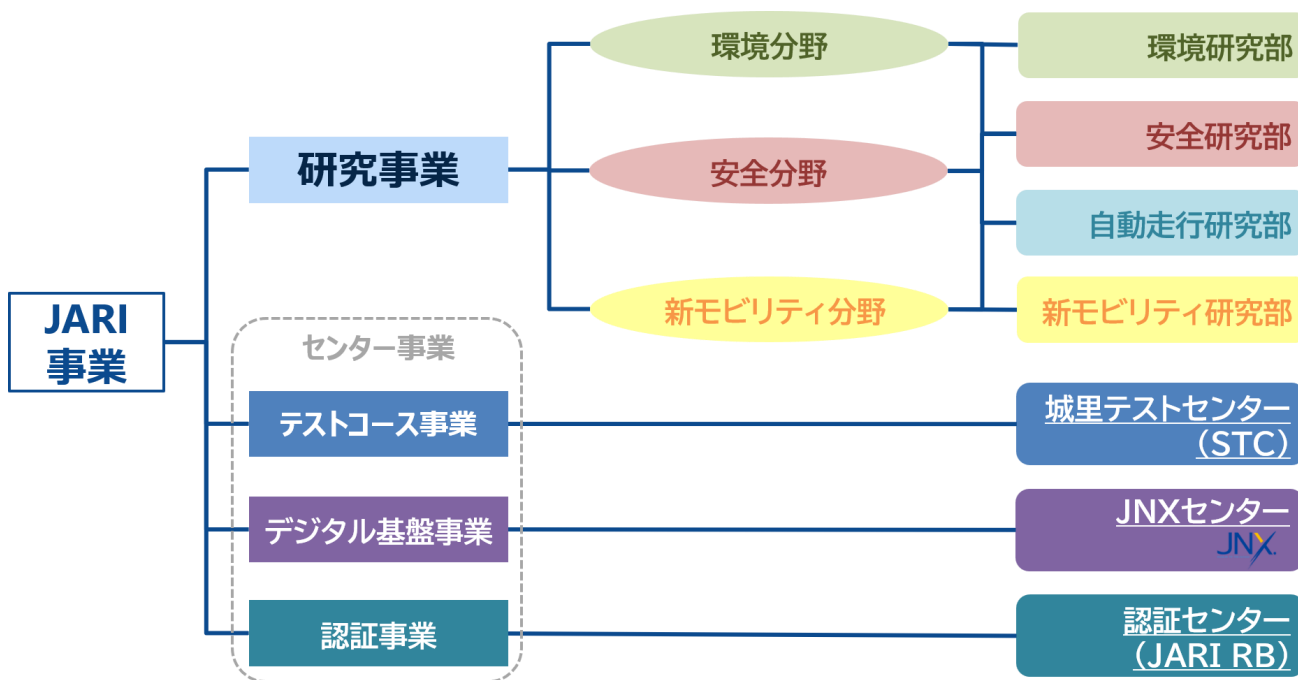
JARI 研究事業戦略

1.2 JARI の事業体制

JARI の事業活動には「研究事業」と「テストコース事業」「デジタル基盤事業」「認証事業」の4つがあります。研究事業は、環境・安全・新モビリティの各分野に対応する4つの研究部が担っています。

一方、研究事業以外の3つの事業は、研究部とは独立した各専門センターが担っており、それぞれの分野で自動車産業や社会に対するサービスを提供しています。以降この3つの事業をまとめて「センター事業」と称します。

※実施部署別の詳細は[付録 A：2026 年度 事業実施部署紹介](#)をご参照ください。



JARI の事業活動と対象・目的、そして実施部署

1.2.1 研究事業

研究事業では、研究事業戦略の重点分野である環境・安全・新モビリティに対応する 4 つの研究部を設置し、幅広い領域で研究を推進しています。

(1) 環境研究部

カーボンニュートラル(脱炭素)なモビリティ社会の実現を目指し、自動車燃料、排出ガス、有害物質の大気および健康影響など、幅広い研究を通じて自動車が環境に与える影響を包括的に評価しています。また、電気自動車(EV)や蓄電池、水素・FC(燃料電池)など、次世代モビリティ技術の研究・試験を推進するとともに、その成果を標準化活動に反映しています。

(2) 安全研究部

交通事故死者ゼロの実現を目指し、事故分析、予防安全、衝突安全および傷害予測に関する研究を推進しています。人体構造や力学特性を忠実に再現した人体ダミーや人体有限要素モデルの開発・活用を通じ、傷害発生メカニズムの解明や傷害評価手法の開発に取り組むとともに、交通事故データや人間特性に基づく安全対策の研究を進めています。また、研究成果を国内外の基準策定や学術活動へ展開しています。

(3) 自動走行研究部

自動運転の社会実装に向け、自動車交通における事故の削減や環境負荷軽減の技術向上を目指し、運転支援システムや自動走行システムの安全性評価、ロボットなどの移動体の安全性評価を研究領域としています。

(4) 新モビリティ研究部

新しいモビリティや自動運転、それらを支える先進技術の社会実装には、通信、電気電子、情報処理、法制度・行政など多様な分野との連携が不可欠です。CASE(Connected、Automated、Shared & Services、Electric)やMaaS(Mobility as a Service)に代表されるモビリティの変革に対応し、自動運転、モビリティサービス、機能安全、サイバーセキュリティなどの分野において、安全性や環境性に加え、社会性や経済性を含む新たな価値の創出を目指し産官学連携の中核となって調査・研究を推進しています。



※ MBD: Model Based Development(モデルベース開発)
ITS: Intelligent Transport Systems(高度道路交通システム)

JARIの研究事業の分野・領域と部署との関係

1.2.2 センター事業

センター事業は、それぞれが独立した事業として運営されています。JARI では、テストコース事業を担う城里テストセンター(STC)、デジタル基盤事業を担う JNX センター、およびマネジメントシステム認証事業を担う認証センター(JARI RB)の 3 つのセンター事業を展開しています。なお、JNX センターでは自動車産業向け共通ネットワークサービス(JNX)を提供しています。

(1) 城里テストセンター(STC)

自動車の開発・評価には、高速域での操縦安定性や加速・制動性能、振動・耐久性、燃費、自動運転、灯火器などに関する実走行試験が不可欠です。STC は、約 302 万 m²に及ぶ広大な敷地を有し、国際級の高速周回路(全周 5,500 m)をはじめ、多様な試験ニーズに対応できる各種試験路を整備しています。

※詳細は、JARI HP の[城里テストセンター](#)をご参照ください。

(2) JNXセンター

JNX(Japanese automotive Network eXchange)は、自動車業界における企業間情報通信のためのクローズドネットワークです。JNX センターは、JNX 接続サービス、ヘルプデスクサービス、セキュリティ情報提供サービスを安定的・継続的に提供しています。さらに、昨今のサイバー攻撃など、情報セキュリティ上の脅威に対応し、安心・安全なネットワーク環境の維持とセキュリティ対策の強化に努めています。

※詳細は、[JNXセンター HP](#)をご参照ください。

(3) 認証センター(JARI RB)

JARI RB では、国際規格に基づいた各種マネジメントシステムの認証、EV/PHEV 用 AC 普通充電器の製品認証、認証や法令に関する研修サービスおよび関連情報の提供を行っています。自動車業界出身の審査員による豊富な知見を活かし、業界特有の課題やニーズを踏まえた審査・認証サービスを提供しています。

※詳細は、[認証センター HP](#)をご参照ください。



JARI の三つのセンター事業